

消防団たずね歩き

西消防団櫛谷支団

西消防団櫛谷支団の紹介をさせていただきます。櫛谷支団は、西消防団(1,430人)の中では最小人員の支団で、4分団、9班145人の団員数となっています。活動区域は、西区のほぼ中央部となる櫛谷町と、その北側の西神、南側の西神南ニュータウンが範囲となっています。

平成28年度は、役員任期(4年)の初年度で、支団本部役員の変更がありました。4月17日に西消防団辞令交付式があり、そのあとに撮った写真を掲載します。左から、高尾(淳)支団長、小池副支団長、伊須原副支団長、高尾(秀)本部分団長、榎原本部分団長です。



高尾支団長は4月から西消防団長に就任しており、役割が増え一段と忙しくなっていることから、支団全員で支援していかねばならないと思っています。

櫛谷支団の活動のなかで固有のものである、「櫛谷川まつり」への警備参加と文化財防火デーにちなんでの訓練があります。

櫛谷町は、櫛谷川沿いに集落があり河川愛護協議会主催で「櫛谷川まつり」が毎年

開催されます。消防団も参加者の安全確保のため警備として参加し、最後の演目で消防団の斉放水(場所の都合で毎回6線放水)をおこなっています。文化財消防訓練ですが、町内に重要文化財(国指定)の如意寺があり防火訓練を隔年(伊川谷町の太山寺と交互)で実施してきました。2月の文化財消防訓練は、西神中央公園の埋蔵文化財センターでの実施となりました。



これらの訓練のほかに、防災福祉コミュニティへの訓練指導があります。

小型動力ポンプの操作方法や放水時の筒先の構え方などを説明した後、消防団のポンプを使用して放水の実体験をしていただいています。



櫛谷支団では、今後発生する大災害での被害軽減のため、高尾支団長を中心にこのような活動を通じ地域の防災力を高めたいと思っています。

(支団本部分団長 高尾秀正)



地域に根付いた消防団を目ざしています!

～地域住民の安全・安心を確保するために～



神戸市消防局
神戸市消防団

